

母子看護実習（学習活動⑥）ループリック

学習活動	学習における 具体的な 評価規準	評価基準			学習の視点
		A	B	C	
育児相談・ 支援を行う。	母体保護や育 児支援につい て理解してい る。	新しい役割への適 応過程にある母親 や家族の戸惑いや 不安を理解し、安 全で満足な育児、 健康な生活が送れ るよう、対象のラ イフスタイルにあ わせた支援を行っ ている。	退院前の母親や 家族の不安を理 解し、母親や児が 安全に生活でき るよう支援を行 っている。	退院前の母親 の不安を理解 し、退院に向 けての説明を 行っている。	☐ 母親への適応過程 ☐ 産褥期の 母子相互作用 ☐ マタニティ ブルーズ ☐ 家族の心理的变化 ☐ 新生児の 特徴と生理 ☐ 育児技術 ☐ 社会資源

【初産婦さんへの退院指導】

<シナリオデザインシート> 実施日：令和6年 *月*日（*）**限目

テーマ	初産婦さんへの退院指導
学年・人数	2年生*名 一母子看護実習一
場面設定	
学習目標	母体保護や育児支援について理解し、対象のライフスタイルにあわせた支援ができる。
患者情報	患者氏名：島津 春南（KOYUJUN TOWN） 性別：女性 年齢：28歳 妊娠39週5日目の11月7日、23時35分、正常分娩（第1前方後頭位）で3.110gの女児を娩出した。アプガール・スコア9点で5分後には10点、胎児面で胎盤娩出までを含む分娩所要時間は14時間30分であった。 会陰右側切開部を3針縫合、出血量は150ml、子宮底は12cmで収縮良好であった。 退院前日、島津さんは「お人形でやった時も背中を洗うのが難しかった。できるかしら？」と心配そうに話しています。「お湯の温度とか必要なことは母親学級で教えてもらったので大丈夫なんですけど、湯舟に落としてしまいそうで怖いです。」と不安そうでした。 「家に帰ったら、1ヶ月間はキッチンのシンクの中にベビーバスを入れて沐浴しようと思っているんです。ちょうど着替えを置く場所もテーブルが近いし、立ったままでできるので安定してできそうだから、リビングも隣だし、でも、<u>(A) 主人の帰りを待っているとお風呂の時間が遅くなっちゃいそうなんだけど、どうしたらいいのでしょうか？」</u>と聞いてきました。 退院診察の結果、明日退院してよいと言われました。夫と相談した結果、退院後は実母に3週間ほど来てもらい、家事や育児のサポートをしてもらうことになりました。 実母は「子どもを育てたのは30年も昔のことなので今の育児の方法はわからない。孫はかわいいけどちょっと心配だわね」と話していました。 本人も、お風呂と母乳のあげ方はわかったけど、家に帰ったら部屋はこんなに暖かくないし、一番不安なのは泣かれた時よ、おろおろしちゃう」と心配そうに話します。 産後休暇の後は育児休業を1年間とり、その後復職する予定です。

課題①	退院当日、島津春南さんに沐浴指導を行いましょう。
課題②	下線 A に対して、どのような対応が必要でしょうか。
課題③	育児に不安がある初産婦さんに、どのような対応が必要でしょうか。
事前課題	・母親への適応過程 ・産褥期の母子相互作用（愛着・絆の形成） ・マタニティーブルーズ ・家族の心理的变化 ・新生児の特徴と生理 ・育児技術習得のための援助（衣類の着脱・おむつの当て方・授乳・沐浴） ・育児環境の調整 ・退院後の生活動作の目安、栄養、清潔、家族計画 ・産後健診と受診、母性の就労の関係法規、社会資源の活用